

# みんなが知りたい 近視管理!



日時 2024年4月20日(土) 17:35-18:35

会場 第10会場 (東京国際フォーラム G409)



座長

外園 千恵 先生  
(京都府立医科大)

近年、世界中で近視の症例数が急激に増加しています。近視が進行すると、将来的には網膜剥離、緑内障、黄斑変性などの失明につながる病気のリスクが増大します。

そのため、近視の兆候を早期に検出し、適切な治療と経過観察を行うことが重要となりました。

近視は遺伝や環境要因によって影響を受けますが、その抑制にはさまざまな治療方法が存在します。ハーフストレイト社のレンズスターに搭載された近視管理ソフトウェア EyeSuite Myopiaは、選択した治療方法が屈折の進行に及ぼす傾向と眼軸長の成長傾向を視覚的に示し、患者に分かりやすく提供することができます。

このセミナーでは学童近視・病的近視の撲滅に向け、真摯に取り組んでいる3人の演者にご講演いただきます。稗田先生には学童近視についての歴史と解説を、鳥居先生には近視治療と管理の具体例を、新見先生には独自に運営されている学童向け近視ドックを中心にお話していただきます。近視管理の導入を検討されている、または迷っている先生方には、お見逃しなくぜひご聴講いただきたいと思います。

## 学童近視の歴史



演者1

稗田 牧 先生  
(京都府立医科大)

## こんな症例どうする？ レンズスター Myopiaを用いた 実践近視管理



演者2

鳥居 秀成 先生  
(慶應義塾大)

## 当院の学童近視への取り組み



演者3

新見 浩司 先生  
(新見眼科)